

高次脳機能障害者生活支援事業 報告（平成 13 年度～平成 17 年度）
（三重県・三重県身体障害者総合福祉センター）

1. 三重県高次脳機能障害者生活支援事業の概要

事業実施期間 平成 13 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月末までの間 5 年間

実施主体 三重県・三重県身体障害者総合福祉センター

予算 32,646 千円(平成 17 年度)

概要

高次脳機能障害者生活支援事業の別名を三重県方式と呼称するが、これは「高次脳機能障害者に対して診断、訓練や生活支援（地域生活）をシステマチック（systematic）に包括的リハビリテーションを行うもの」であり、その実施する高次脳機能障害者包括的リハビリテーションネットワークを三重モデルという。

ア. 拠点病院の指定

① 松阪中央総合病院

主に急性期リハを担当するが、高次脳機能障害診断・外来による認知リハビリテーション及び三重県モデルを通過したケースのアフターフォローを実施している。

② 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

主に回復期病棟における入院治療訓練を担当しているが、三重県モデルにおいては、入院による認知リハビリテーションを実施している。

イ. 三重県身体障害総合福祉センター(以下「身障センター」)の役割

身障センターでは、高次脳機能障害者支援プロジェクトを立ち上げ、特に神経心理学的評価（臨床心理士を配置）と職業リハビリテーション（職能訓練）に重点を置いている。また、平成 16 年度からは高次脳機能障害者（児）支援コーディネーターを配置し、総合的な相談・直接的また間接的な支援、アフターフォローを実施している。機能については、大きく分けて下記の 3 つになる。

① 県内の高次脳機能障害者(児)からの総合相談窓口

② 生活・社会・職業リハビリテーションを担当

手帳なし利用者 入所 5 名・通所 5 名 市町村から支援費相当額を徴収

③ 啓発普及

- ・ 高次脳機能障害者地域支援セミナーの開催 年 2 回実施
- ・ 高次脳機能障害者(児)リハビリテーション講座(当事者・家族・支援者対象年 2 回～6 回)
- ・ 各関係機関（福祉、行政、学校等）を対象とした研修会の開催（不定期）
- ・ 情報発信 身障センターホームページ <http://www.mie-reha.jp/>

2. 三重県高次脳機能障害者生活支援事業連絡調整委員会

三重県高次脳機能障害者生活支援事業が円滑且つ適正に運営されるために事業調整委員会が設置されている。委員については、三重大学医学部他病院医師、行政関係者、当事者団体代表などから構成されている。

また、モデル事業利用者の選定委員会としても兼ねており、手帳のないケースについての利用決定については、この委員会の裁量に委ねられている。

<平成17年度 高次脳機能障害者生活支援事業 連絡調整委員>

所 属・職 名	氏 名
松阪中央総合病院 リハビリテーション科 医長	太田 喜久夫(委員長)
藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム 病院長	園田 茂(副委員長)
三重大学医学部 神経内科 助教授	成田 有吾
三重大学医学部 脳神経外科 助教授	松島 聡
鈴鹿厚生病院 精神科 副院長	川喜田 昌彦
脳外傷友の会みずほ 三重県支部 代表	古謝 由美
三重県医療ソーシャルワーカー協会 会長	畑中 寿美
三重障害者職業センター 所長	森田 悦男
三重県身体障害者更生相談所 所長	村田 憲二
三重県身体障害者総合福祉センター 所長	岡本 武久
三重県身体障害者総合福祉センター 診療部マネジャー	神田 仁
三重県健康福祉部 障害福祉室 室長	脇田 愉司
(事務局) 三重県健康福祉部 障害福祉室 主幹	石坂 すみ
(事務局) 三重県健康福祉部 障害福祉室 主査	三上 政和
(事務局) 三重県身体障害者総合福祉センター 経営企画チーム 企画グループリーダー	白山 靖彦
(事務局) 三重県身体障害者総合福祉センター 訓練指導チーム 職能訓練グループリーダー	中林 千明
(事務局) 三重県身体障害者総合福祉センター 高次脳機能障害者(児)支援コーディネーター	傍島 康氏

(連絡調整委員会開催)

開催年度	開催回数	委員出席者数 合計
平成13年度	6回	59名
平成14年度	3回	26名
平成15年度	3回	32名
平成16年度	3回	30名
平成17年度	3回	44名

3. 啓発・普及活動

ア. 高次脳機能障害者地域支援セミナー

本セミナーは、「高次脳機能障害者」を多角的に研修するために、見識者による基調講演を主たる内容とした研修会である。対象は、医師・PT・OT・ST・MSWなどの医療関係者、市町村福祉などの行政関係者、福祉施設職員及び当事者・家族である。
年2回実施

イ. 社会福祉施設等への講習会

本講習会は、身体障害者総合福祉センター職員（支援コーディネーター、ケースワーカー、職業指導員）が、直接施設や病院に出向き、高次脳機能障害者の具体的対応方法やマネジメントの直接的助言を行い、ケース会議も開催する。随時開催

ウ. 高次脳機能障害者(児)リハビリテーション教室の開催

日本損害保険協会より、三重県高次脳機能障害者生活支援事業連絡調整委員会に委託された研修事業を三重県では、当事者・家族を対象としたリハビリ教室を県内各地で実施し、最新情報の提供や相談会を開いた。

(高次脳機能障害地域支援セミナー開催) **☆5年間での総数 延べ 1,539名**

開催年度	開催日時	場所	講演者	内容	参加数	
平成13年度	第1回	平成13年8月5日	三重県人権センター 大セミナー室	園田茂氏 ほか	基調講演	105
	第2回	平成14年3月10日	三重県人権センター 多目的ホール	阿部順子氏 ほか	基調講演 パネル	
平成14年度	第3回	平成14年8月25日	三重県人権センター 大セミナー室	松島聡氏 田谷勝夫氏	基調講演	113
	第4回	平成15年3月2日	三重県人権センター 多目的ホール	成田有吾氏	基調講演	218
平成15年度	第5回	平成15年8月24日	三重県人権センター 大セミナー室	宮永和夫氏 ほか	基調講演 発表	97
	第6回	平成16年3月7日	三重県人権センター 多目的ホール	泉陽子氏 中島八十一氏 ほか	基調講演 パネル	265
平成16年度	第7回	平成16年9月11日	三重県人権センター 大セミナー室	生方克之氏	基調講演	113
	第8回	平成17年3月6日	三重県人権センター 多目的ホール	蜂須賀研二氏	基調講演	178
平成17年度	第9回	平成17年8月28日	三重県人権センター 多目的ホール	大坂純氏	基調講演	128
	第10回	平成18年3月5日	三重県人権センター 多目的ホール	中島八十一氏 東川悦子氏	基調講演	146

(現場指導・啓発)

年度	指導場所・研修場所	実施回数
平成13年度	地域支援セミナー、身体障害者授産施設	3回
平成14年度	県内小学校、ケアマネ研修等	7回
平成15年度	身体障害者授産施設、小学校等	3回
平成16年度	在宅介護支援センター、リハ学会等	2回
平成17年度	県内社会福祉協議会、MSW研修会等	4回

(高次脳機能障害者(児)リハビリテーション教室)

地域	開催場所	実施回数
平成 15 年度	県内 北勢、中勢地域	6 回
平成 16 年度	県内 北勢、中勢、尾鷲地区	4 回
平成 17 年度	県内 伊勢志摩、中勢地区	2 回

エ. 視察・研修対応

平成 14 年度	国立身体障害者リハビリテーションセンター 神奈川県総合リハビリテーションセンター 名古屋市総合リハビリテーションセンター 大阪府・大阪府リハビリテーションセンター	4 件 (15 名)
平成 15 年度	鳥取県 行政担当者他 静岡県 行政担当者 島根県 島根厚生事業団 岡山県 高次脳機能障害関連施設職員 長崎県 県立施設職員 国立身体障害者リハビリテーションセンター	6 件 (14 名)
平成 16 年度	沖縄県 行政担当者 長野県 行政担当者 福岡県 行政担当者 宮城県 行政担当者	4 件 (8 名)
平成 17 年度	国立身体障害者リハビリテーションセンター 広島県 行政担当者 リハセンター 山口県 行政担当者 大分県 行政担当者 岩手県 リハセンター、行政担当者	5 件 (14 名)

4. 事業実施内容

ア. 高次脳機能障害モデル事業への登録者

◆平成 13 年度～平成 15 年度 47 名 (男性 43 名 女性 4 名)

◆平成 16 年度～平成 17 年度 9 名 (新規登録 7 名、既存者 2 名 : 男性 8 名、女性 1 名)

イ. 原因疾患の内訳 (n=54)

脳梗塞 1 名、クモ膜下出血 3 名、もやもや病 1 名、脳挫傷 33 名、

びまん性軸策損傷 4 名、外傷性くも膜下出血 3 名、外傷性脳内・血腫 1 名

硬膜下出血 1 名、硬膜外出血 1 名、脳腫瘍 1 名、低酸素脳症 4 名、脳炎 1 名

オ. 手帳の有無

手帳なし 17 名、手帳あり 37 名 (うち途中取得者 8 名)

※身障 37 名 精神 1 名 療育 1 名

カ. 市町村別登録者状況

18 市町から要請があり、全体の 62.1%。(三重県全市町村数 29 市町)

5. 身障センター訓練終了時の状況(平成 13 年 10 月～平成 18 年 2 月まで)

訓練終了全ケース数 90 名

性別 男性 77 名 女性 13 人

年齢 40.3 歳 (±11.7 : 20 歳～60 歳)

身障手帳 有 69 名 (うち途中取得者 18 名) 無 21 人

発症後経過 1 年未満 36 名 1 年以上 54 名

訓練期間 平均日数 403.5 日

帰結先	[雇用就労・就学]	新規就労	17 名	}	42.2%
(最新の状況)		復職	18 名		
		新規就学	1 名		
		復学	2 名		
	[福祉就労]	身障授産	13 名	}	21.1%
		精神障害授産	3 名		
		小規模作業所	3 名		
	[福祉サービス]	身障デイサービス	8 名	}	34.4%
		療護施設	5 名		
		在宅復帰	18 名		
		その他 (死去)	2 名		2.2%

6. 問合せ先

〒514-0113 三重県身体障害者総合福祉センター 担当 白山・傍島まで
 TEL059-231-0155 FAX059-231-0356 Email kojinou@mie-reha.jp

7. 三重県方式の概要（フローチャート）

